

障害者サービス

- 担当：吉田右子
- 定義・理念・対象
- サービス
- 資料
- スタッフ
- 施設
- ネットワーク
- 制度
- 先進的な事例

障害者サービス：定義

- 視覚障害，聴覚障害，肢体障害，永続する内部（内蔵機能）障害，それに学習障害などその他の心身障害を持つ人々に対して，図書館が提供するサービス．具体的には，点字資料，録音資料，拡大資料，拡大写本，字幕付きビデオテープ，手話付きビデオテープの収集と提供，対面朗読，点訳，音訳，墨字訳，家庭配本などが含まれる．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

理念：「障害者へのサービスで
はなく、図書館利用に障害のあ
る人びとへのサービス」

『障害者サービス 補訂版』 p. 15

障碍の定義

- 世界保健機構WHO「国際生活機能分類」 ICF: International Classification of Functioning, Disability and Health
- 従来のWHO国際障害分類はマイナス面を分類
- ICFは生活機能というプラス面からとらえる
- 出典：
<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2002/08/h0805-1.html>

障碍の表現

- handicapは使われなくなっている
- person with disabilities
- person without disabilities
- children with special health care needs
- physically disabled
- mentally disabled

ノーマライゼーション

- 障害者が障害のない人々と一緒に普通に生活できるようにすること，あるいはそのような理念．【中略】今日では社会福祉全般の理念として定着し，バリアフリー，ユニバーサルデザインといった考え方に具体化されている．日本の図書館の障害者サービスでは，誰もが同じように利用できる図書館サービスを提供することとして理解されている．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

バリアフリー

- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法）
（平成18年6月21日公布、同年12月20日施行）
 - <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H18/H18H0091.html>

ユニバーサルデザイン

- Equitable use (公平な利用)
- Flexibility in use (利用における柔軟性)
- Simple and intuitive (単純で直感的な利用)
- Perceptible information (認知できる情報)
- Tolerance for error (失敗に対する寛大さ)
- Low physical effort (少ない身体的な努力)
- Size and space for approach and use (接近や利用のためのサイズと空間)
- <http://www.universal-design.co.jp/aboutus/idea/ada.html>

障害者の権利

- 1990年 アメリカ障害者法（Americans with Disabilities Act of ; ADA）制定
- 2006年 国連総会「障害者の権利に関する条約制定」（日本は2007年に署名、2014年に批准が承認される）

読書権

- 1971年 全国図書館大会において視覚障害者読書保障協議会（視読協）「視覚障害者の読書環境整備を：図書館協会会員に訴える」アピール文を配布
- 読書する権利「読書権」を提唱
- 社会福祉行政ではなく社会行政の中に視覚障害者へのサービスを位置づける
- 出典：『障害者サービス 補訂版』日本図書館協会, 2008, p. 22-23

基準

図書館の設置及び運営上の望ましい基準 (2012年文部科学省告示第172号)

- (四) 利用者に対応したサービス
- 市町村立図書館は、多様な利用者及び住民の利用を促進するため、関係機関・団体と連携を図りながら、次に掲げる事項その他のサービスの充実に努めるものとする。
- イ (高齢者に対するサービス) 大活字本、録音資料等の整備・提供、図書館利用の際の介助、図書館資料等の代読サービスの実施
- ウ (障害者に対するサービス) 点字資料、大活字本、録音資料、手話や字幕入りの映像資料等の整備・提供、手話・筆談等によるコミュニケーションの確保、図書館利用の際の介助、図書館資料等の代読サービスの実施

図書館の設置及び運営上の望ましい基準 (2012年文部科学省告示第172号)

- ・ 才 （外国人等に対するサービス） 外国語による利用案内の作成・頒布、外国語資料や各国事情に関する資料の整備・提供
- ・ 力 （図書館への来館が困難な者に対するサービス） 宅配サービスの実施

障害者サービスの対象者

- 視覚障害
- 聴覚障害
- 肢体障害
- 重複障害（盲ろう者）
- その他図書館の利用に障害を持つ者
 - 精神的・知的障害者
 - 学習障害・ディスレクシア
 - 入院患者／施設入所者
 - 非識字者／移民

ディスレクシア

- 知的能力自体に障害はないが、読み間違えたり鏡文字を書くなど、文字の読み書きだけに困難がある学習障害。「読字障害」と訳されることも多い。【中略】文字を音に変換して聴覚的に受容できるようにすれば、読めない状態をある程度克服できる可能性があり、ディスレクシアに対する録音図書やDAISY資料の有効性が国際的に実証されつつある
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善, 2013）

サービス

視覚障害者サービス

- 通常の図書館資料を利用することができない視覚（視力，視野，色覚）障害者に対して図書館が提供するサービス。一般的には，対面朗読サービスや，点字資料や録音資料の郵送貸出などがその例である。弱視者に対するサービスとして，大型活字本，拡大写本の提供がある。視覚障害児に対しては，さわる絵本の提供や読み聞かせなどがある。また，点字による図書館利用案内，館内表示に加えて，拡大読書器や，原文に光をあてると発声する電子読書器などの機器を用いたサービス，点字図書館のネットワークによる点字資料についての書誌データの提供も含まれる。
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

聴覚障害者サービス

- 聴覚障害者のために図書館が提供するサービス。手話や筆談等で対応できる職員の配置，字幕付きビデオテープや手話付きビデオテープ，フィルム等の収集と提供，拡声装置のある集会室の設置，緊急事態発生時のための光学式の警報装置の設置などがあげられる。また，障害者のニーズに応えるために，他の機関（社会福祉法人聴力障害者情報文化センター等）との相互協力も含む
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

- 来館者へのサービス
- 対面朗読
- 図書館へ来館できない人へのサービス
 - 宅配サービス
 - 郵送貸出
 - 病院サービス
 - 施設へのサービス
 - 電話・ファックス・メール

音訳サービス

- 視覚障害やその他の理由で図書館資料をそのままでは利用できない人々に対して図書館の行うサービスの一つで，書かれたものを音に変えるサービス．広く「朗読サービス」が用いられているが，「朗読」には読み手が表現者であるという意味が含まれるとして，代わって「音訳サービス」が用いられるようになりつつある．点訳サービスに対する用語
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

点訳サービス

- 主として点字図書館でボランティア活動として行われる，視覚障害者の読書用に，活字書の中から選択して，正確な点字資料に訳すサービス．
個々の視覚障害者の要求に応じて行う場合や，視覚に障害を持つ学生のテキストを製作，提供する場合もある．点訳の方法は，従来の点字タイプライターの使用から，パーソナルコンピュータを用いた点訳へと移行している．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

対面朗読

- 図書館が提供する音訳サービスの一つで、朗読者が「目の代わり」となって指定された資料を読むサービス。朗読者は図書館員やボランティアである。対面朗読は、点字資料や録音資料に訳されていない資料を即座に利用できるという利点がある。また利用者は、その場で質問ができるために、レファレンスサービスにもつながり、より積極的な障害者サービスができるようになる。
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善、2013）

録音サービス

- 図書館が提供する音訳サービスの一つで，利用者の要求に応じて，印刷資料を読んでテープに録音し，提供するサービス．「著作権法」第37条第3項によれば，”視覚障害者その他視覚による表現の認識に障害のある者の福祉に関する事業を行う者で政令で定めるもの”は，公表された著作物を録音し，インターネット送信することができる．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

実例紹介 対面朗読 実際例の紹介

『障害者サービス 補訂版』

p. 65-67

図書館へ来館できない人 へのサービス

サービスの種類

- 宅配サービス
- 郵送貸出
- 病院サービス
- 施設サービス
- 文字情報サービス

家庭配本サービス

- 身体障害者や外出困難な高齢者など，来館が困難な人々の自宅に資料を届ける図書館サービス．図書館員が直接届ける体制【中略】が望ましいとされる．すなわち，利用者が自宅で手にできる蔵書情報，流通情報に限りがあり，専門家としての図書館員の相談が必要であり，また，職員の側にとっても，利用者の要求を直接聞く機会になること，利用者の読書の秘密を守る必要があることである．出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

郵送貸出

- ・施設入所者や障害者などの外出困難者に対して，日本郵便株式会社の郵送・宅配サービスにより資料を提供する図書館サービス．送料は資料形態や利用者により規定が異なる．出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善, 2013）

アウトリーチ

- 施設入所者，低所得者，非識字者，民族的少数者など，これまでの図書館サービスが及ばなかった人々に対して，サービスを広げていく活動．……社会的に不利益をこうむっている人々の多くが，そのまま図書館の未利用者であるという事実が図書館の側の責任として問題にされ，従来のサービス提供方法を改革し，未利用者を利用者に転化していく方策が模索された．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

施設へのサービス

- 公共図書館の団体貸出のうち，病院，刑務所，高齢者施設，精神障害者施設，身体障害者施設等への貸出．【中略】単なる施設貸出にとどまらず地域公共図書館員による施設図書館の運営に関する相談，助言，直接サービス等のさらなる援助，協力関係が望まれる．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

病院サービス

- 病院入院患者を対象とした図書館サービス。【中略】読書権，学習権，情報へのアクセス権を入院患者の基本的人権として捉え，個人の置かれている状況にかかわらず，その権利を保障すること，【中略】読書療法や，社会復帰のリハビリテーションの手段など，精神療法の一技法として読書が治療効果を持つこと，をあげることができる。
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

病院患者図書館

- (1) 入院患者を主たる対象とし、一般的な資料を中心に提供する患者用図書館 (patients ' library) . (2) 病院の医療スタッフを主たる対象に、医学、薬学、看護学等の資料や情報を提供する医学図書館 (medical library) . (3) 上記 (1) と (2) が統合された図書館. ……欧米諸国においては、「患者が自分の病気について知る権利」についての認識の高まり等を背景に、患者やその家族、あるいは地域住民に専門的な資料や健康情報を提供する事例もある.
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善, 2013）

病院患者図書館の例

- 静岡県立がんセンター「あすなろ図書館」
 - <http://www.scchr.jp/chishiki.html>
- 島根大学医学部附属図書館患者図書室「ふらっと」
 - <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/library.html>

スウェーデンの病院図書館

- Sjukhusbibioteket i Lund 5.49（最初の3分）
 - <http://www.youtube.com/watch?v=pDO3dEcPpII>

参考文献

- ・ 菊池佑『病院患者図書館 患者・市民に教育・文化・医療情報を提供』出版ニュース社 2001年, 366p.

刑務所図書館

- 刑務所等の矯正施設に設置される図書館。矯正施設被収容者に対し、資料の提供を通じ、情報、教養、文化、娯楽を供するとともに、矯正施設の教育的設置趣旨に照らし、その教育、社会復帰の援助に資する図書館である。……日本においても近年わすかずつながり、矯正施設へのサービスを行う公共図書館が増加しつつある。
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

「人生を変える」ソートン刑務所図書館

- 「同館は明るく入りやすいデザインで，刑務所の環境とは大きく異なる印象を与える。それらのデザインや設備は，受刑者自身の手によるものも含んでいるという。受刑者はそこでリテラシーを身につけるだけでなく，出所後に職を探すための履歴書の書き方について図書館員から教わったり，読書以外にもゲームをしたりすることができ，また，基本的な図書館員のスキルを学んだりすることもできる」

－ 出典：カレントアウェアネス-E No.175

2010.07.22 <http://current.ndl.go.jp/e1072>

エジンバラ市とソートン刑務所図書館の パートナーシップ

- 英国図書館・情報専門家協会（CILIP）
“Libraries Change Lives Award
2010”
 - <http://current.ndl.go.jp/e1072>
 - <http://www.youtube.com/watch?v=sp6uNF4hclw&list=PL3D6E43375CCAC7DE>

日本の動向

- 公共図書館のとの連携
 - 堺市立図書館から大阪刑務所へ
 - 姫路市立図書館から姫路少年刑務所へ
- 矯正と図書館サービス連絡会
 - 矯正施設と図書館との連携
 - 矯正施設内の読書環境の整備
 - <http://kyotoren.cocolog-nifty.com/blog/1-seturitusyusi.html>

参考文献

- 中根 憲一 『刑務所図書館—受刑者の更生と社会復帰のために』 出版ニュース社, p. 233.

配本所

- 図書館から送られた図書が利用者に貸し出される場所。配本所には資料は常置されず、利用者の要求に応じて随時、図書館から本が運ばれる。配本所が置かれるのは、山間部の集落、会社、団体、病院、福祉施設など特定地域の人が集まる場所が多い。
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善, 2013）

資料

種類

- 資料変換
- 録音資料
- 点字資料
- 拡大資料
- DAISY
- 字幕・手話付き動画
- さわる絵本

録音資料

- 音声や音楽などの現実の音を，後で再生装置を利用することによりほぼ同一の音として再現可能な方式で記録した資料．『日本目録規則 1987年版改訂3版』用語解説では，映像を伴わない音のみの記録物を指している．録音資料の形態は，レコード，コンパクトディスク等のディスク形態と，カセットテープ等のテープ形態に分けられる．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

点字資料

- 点字で情報を記録した資料。点字は視覚障害者が手で触れて読むための文字で、1829年にブラユ（Louis Braille 1809-1853）が考案し、1890（明治23）年に石川倉次（1859-1944）が五十音に翻案した。【中略】近年はキーボードからパーソナルコンピュータに入力して点字プリンターで印刷する方法が普及してきた。そのほか、既存のテキストファイルやOCR入力の文章を点字に変換するソフトウェアもある。
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善、2013）

大活字本

- 弱視者用に大きな活字で印刷された図書．大型活字本ともいう．実際には，印刷方式にかかわらず，文字の大きな図書の総称としても用いられる．具体的には，〈1〉大きな活字で版を組み直す，〈2〉原本を電子式複写機等で拡大する，〈3〉手書きやコンピュータを用いて拡大写本を作成する，等の方法で作成される．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

拡大図書

- 大活字本
 - <http://kouyamayosiko.net/jnr/douzonolargesize.htm>
- 拡大写本
 - <http://www.ne.jp/asahi/yks/y/>

字幕・手話付き動画

- ・ 社会福祉法人聴力障害者文化情報センターの「聴覚障害者向け映像ライブラリー事業」
 - <http://www.jyoubun-center.or.jp/video/>

さわる絵本

- さわる絵本

- <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/info/ibby07/tenji.html>

デジタル録音資料：DAISY

Digital Accessible Information System

活字による読書が困難な人々のための国際的なデジタル録音資料制作システム。……近年は音声だけでなく、画像やテキストデータとともにインターネットでも提供できるマルチメディア対応型記録媒体となっている。

出典：『図書館情報学用語辞典』第4版

紹介動画 4:13

http://www.youtube.com/watch?v=4ln_Ql-CP4o

DAISY録音(DAISY)資料製作に 関する全国基準

- 「音声DAISY 製作の際の申し合わせ事項」
- 1.原本にできるかぎり忠実に音声化し、DAISY 編集を行う。
- 2.始めと終わりの枠アナウンス以外は、原本の記載順序にできるかぎりあわせて音声化する。
- 3.枠アナウンスには、著作権処理に関する事項、製作館に関する事項、製作完了年月に関する事項、および録音図書凡例を録音する。
- 4.最低1回は、原本と照合した校正を行う。
- 5.録音は、圧縮せず、PCM で行う。
- 6.貸出用録音資料は、MP3 形式で提供する。
- http://www.jla.or.jp/portals/0/html/lsh/zenkoku_kukijyun.html

- DAISYの情報

- <http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/>

トピック：よみやすい本

スウェーデンの「読みやすい本」

- スウェーデンのCentrum för Lättläst
 - <http://www.lattlast.se/?page=162>
- 「8ページ新聞」 (8 SIDOR)
 - <http://www.8sidor.se/?page=42>
- 対象となるグループ
 - 知的障害者、ディスレクシア、LD(Learning Disabilities、自閉症、聴覚障害者、失語症、認知症

読みやすい本をめぐる動き：日本

- 日本障害者リハビリテーション協会デイジー情報センターがDAISYの普及活動
- LLブック『赤いハイヒール』
 - <http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy/book/multimedia/redhi.html>

- 出版ユニバーサルデザイン研究会
 - 「本にかかわる仕事をしている人と多様なニーズをもつ読者が、読書のユニバーサルデザインについて考える」
 - http://blog.goo.ne.jp/udp-pub_blog/e/e3e7f30661d92e0ad40b62da0ec07f24

参考文献

- 藤沢和子, 服部敦司編著『LLブックを届ける : やさしく読める本を知的障害・自閉症のある読者へ』読書工房 2009/3, 327p.
- 野口武悟編著『一人ひとりの読書を支える学校図書館：特別支援教育から見えてくるニーズとサポート』読書工房, 2010, 221p.
 - 学校図書館を扱っているが、読みに困難な人びとへのメディアについて、理解を深めることができる

施設

館内サイン

施設・設備

障害者サービス用機器

スタッフ

障害者とのコミュニケーション

- ・ 視覚障害者：電話の活用
- ・ 聴覚障害者：筆談、手話
- ・ 発語障害者：雰囲気作り、電子機器
- ・ 時間をかけた丁寧な接遇、温かい雰囲気作り
- ・ 出典：『障害者サービス 補訂版』，
2008, p. 182-192

トピック：研修の実際

日本図書館協会
障害者サービス委員会
による研修

[http://www.jla.or.jp/portals/0
/html/lsh/index.html](http://www.jla.or.jp/portals/0/html/lsh/index.html)

ネットワーク

資料の相互貸借

- 図書館間協力
 - 国立国会図書館
 - 県立図書館
 - 大学図書館

視覚障害者用資料のための 目録・検索システム

- NDL「視覚障害者への図書館サービス」
 - <http://www.ndl.go.jp/jp/library/supportvisual/supportvisual.html>
- NDLサーチ「障害者向け資料検索」
 - <http://iss.ndl.go.jp/>

専門機関との協力

- 視覚障害者情報提供機関
 - 全国視覚障害者情報提供施設協会（全視情協）
 - <http://www.naiiv.net/link/>
- 点字図書館
- 聴覚障害者情報提供機関
 - 聴力障害者文化センター
 - <http://www.jyoubun-center.or.jp/>
- 障害者関係団体との連携

点字図書館

点字図書館

- 視覚障害者の求める情報や知識を提供できるように、点訳、音訳のためのボランティアの養成や、点字資料や録音資料の製作、貸出などを行う図書館。日本には、日本ライトハウス盲人情報文化センターを含む90館が全国視覚障害者情報提供施設協会（全視情協）（前 全国点字図書館協議会）に加盟している。
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善, 2013）

点字図書館の例

- 日本ライトハウス情報文化センター
 - <http://www.iccb.jp/>
- 日本点字図書館
 - <http://www.nittento.or.jp/>

参考文献

- ・ 日本図書館協会障害者サービス委員会編
『補訂版 障害者サービス』日本図書館協会,
2003, 316p (図書館員選書 12)

障害者サービスと制度

著作権法

録音サービスと著作権

聴覚障害者と著作権法（字幕付き
ビデオの作成）

著作権法第37条第3項

- 図書館の障害者サービスにおける著作権法第37条第3項に基づく著作物の複製等に関するガイドライン（HTML版）
 - <http://www.jla.or.jp/portals/0/html/20130902.html>

2009年著作権法改正と 図書館サービス

- 南亮一「2009年著作権法改正によって図書館にできるようになったこと：障害者サービスに関して」
 - http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/copyright/minami_jla1007.html
- 山本順一「2009（平成21）年著作権法改正と図書館サービス」
 - http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/copyright/yamamoto_jla1003.html

自由利用マーク

- 著作権者による著作権一部開放
- 文化庁著作権課
 - <http://www.bunka.go.jp/jiyuriyo/>

郵便制度

郵送貸出

- 第四種郵便に該当する視覚障害者のための点字資料，特定録音物の送料は無料となる．聴覚障害者用のビデオテープの発受には聴覚障害者用ゆうパック，第四種郵便の指定サイズを超えた点字資料には点字ゆうパック，心身障害者用の図書には心身障害者ゆうメールが用意されており，いずれも通常料金の半額で利用できる．
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

心身障害者用ゆうメール

- 日本郵便株式会社が提供する図書[※]の配送サービスで、重度の心身障害者と「図書館法」第2条第1項に規定された図書館との間で閲覧用図書の授受に利用できる。通常のゆうメール料金の半額となる。このサービスを利用しようとする図書館は、心身障害者のための閲覧業務に関する資料を添えて、あらかじめ日本郵便株式会社に届け出る必要がある。
- 出典：『図書館情報学用語辞典』第4版（丸善，2013）

先進的サービス実践例

- 埼玉県立久喜図書館
- https://www.lib.pref.saitama.jp/stplib_doc/shogai/index.html
- 千葉県立西部図書館
- <http://www.library.pref.chiba.lg.jp/guide/handicap/index.html>
- 墨田区立ひきふね図書館
- http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/hs/hs_service.html
- 調布市立中央図書館
- http://www.lib.city.chofu.tokyo.jp/hs/hs_service.html
- 横浜市中心図書館
- <http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/library/guide/riyo-handicap.html>

国際動向

トピック:「IFLAプリントディ
スアビリティのある人々のた
めの図書館宣言」

IFLAプリントディスアビリティの ある人々のための図書館宣言

- 「印刷物を読むことに障害がある人々のための図書館分科会（LPD）」がユネスコに提出した決議案文とIFLA宣言
 - http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/ifla/ifla_lpd_manifesto.html

IFLA『ディスレクシアのための図書館サービスガイドライン』（2001）

- <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/easy/gl.html>

参考URL

- 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 情報センター
- <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access.html>
- IFLA（国際図書館連盟）の障害者の情報アクセスに関する取り組み
- <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/ifla.html>
- 世界の図書館の障害のある人へのサービス
- <http://www.dinf.ne.jp/doc/japanese/access/library.html>